

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

すべての園児・児童・生徒に15年間の連続した「学び」を保証するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援する。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化と、地域の教育力を高めるための協働により、地域に園児・児童・生徒が活躍できる場を作ることによって「自己有用感」の育成を図る。

今年度の取組紹介

本年度も地域合同行事のSAKURA夢フェスタ8th.を開催しました。ステージでは国文祭・障文祭に出演された車いすのダンスパフォーマンスを鑑賞しました。SAKURA夢スクール英会話教室の英語劇、都南中学校吹奏楽部の演奏、辰市小の児童有志、一条高校OB・OGによるヒップホップダンスが行われ、校区内の子どもたちが出演することで来場者が増えました。午後からの模擬店は地域の各団体・企業と中学生有志の「カレー都南」が出店しました。グラウンドでは大綱引き大会も行われました。前日の会場準備、当日の後片付けも中学生が中心となって行ってくれました。

中学校に設置されたコミュニティルームの運営支援として、SAKURA夢スクールを実施し、英会話教室・編み物教室・着付け教室の3講座を開講しました。



今年度のまとめ

今年度の取り組みの成果としては、SAKURA夢フェスタを前日準備から、終了後の後片付けを地域の方々やなかまと一緒に協力して行うことができました。恒例となった「カレー都南」の仕込み、模擬店運営を通して達成感や自己有用感を感じてくれていると思われます。ステージでは障がいのある方の車いすによる素晴らしいダンスパフォーマンスを鑑賞し、障がい者福祉や人権についても何かを感じてもらえたと思います。

SAKURAネットワークの活動の広報の場として都南中学校のHPを活用していることも知られてきて昨年は150／日ほどだったアクセス数が600／日までに増えました。

来年度に向けて

様々な事業・行事を通して多くの地域の方が学校を訪れるようになりました。また、地域の催しに教員が出向いて児童生徒や地域の方との関わりも行われています。次は子どもたちが地域に入っていく活躍する場面を作っていきたいと思います。そして一緒に活動している様子をHPに載せることでより多くの地域の方にも閲覧してもらえるようにしていきたいと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

自己有用感を育成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

今年度の取組紹介

「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに様々な活動を行いました。校舎内外の修繕や清掃、花壇運営など学習環境を整える取組を、年間を通じて行ないました。生徒たちが地域に出向き街の清掃活動を行う「クリーンキャンペーン」も実施しました。

長年にわたり地域の方々と共に作り上げてきたSAKURA夢フェスタでも、生徒たちは様々な場面を通して地域の方々と触れ合うことで目標の一つである自己有用感を得ることができ、大きな成果があったと感じています。

また、本校の体育大会は、「一人でも多くの地域の方々に学校を知っていただきたい」という願いから、地域との共催で行っており、地域の方が実際に学校行事の運営に携わっていただくことで、学校への理解が着実に進んでいると感じます。

図書館運営においては、継続的に地域ボランティアの方々によるご協力のおかげで読書推進活動が行われており、多くの生徒が図書館を利用できています。



SAKURA夢フェスタ
準備風景



図書館ボランティア

今年度のまとめ

様々な取組で、生徒たちが地域の方々と共に活動するなかで、地域の方々との触れ合いを通じて、たくさんのお声かけをいただき、生徒たちが自己有用感を感じることができ、大きな成果があったと思います。これらにおいてボランティアの方々を始め、多くの地域の方々が学校へ足を運んで下さり、「あいさつが良くなった」「手伝いもよく動いてくれる」などご意見を頂けました。

来年度に向けて

昨年度に引き続き、来年度も「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに掲げ、事業を推進していこうと考えています。地域の人に学校へ足を運んでもらう取組を継続しながら、その中で地域の方々との触れ合いを通じて、生徒たちが「自己有用感」を感じ、さらには規範意識の醸成につながればと考えています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に生かせる子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標

学校と地域が連携・協働し、学習環境整備に取り組みながら、子どもたち一人ひとりに「地域の一員である」という意識を育んでいきたい。

今年度の取組紹介

本校の校区では地域の方々の「子どもは地域で育てる」の意識が強く、毎年学校と地域と家庭との連携・協働で事業を進めてきています。ここでは、「東市まるごと子どもフェスタ」と「菜の花プロジェクト」を紹介します。

本校では毎年10月に日曜参観を実施し、参観後に地域の方々、PTA、TNP（東市日本一プロジェクト）、本校職員の協働で催し物をしたり模擬店を出したりして「東市まるごと子どもフェスタ」を行っています。今年度は、〈東市まるごと 笑顔100%〉をテーマに開催しました。子どもたちはもちろん、地域の方々も楽しみにしておられ、地域、家庭、学校が交流できる機会となっています。



「菜の花プロジェクト」は、地域のボランティアの方々と種を蒔くところから始め、1年間育てた後、刈取り、脱穀、搾油の作業を行い取れた菜種油は世界遺産学習時に春日大社と興福寺にお渡ししています。また4年生の握り墨体験時にも使用しています。

今年度のまとめ

今年度の事業も東市小学校運営委員会では話し合いを重ねて、地域と学校との連携・協働による事業の計画を練り、実施してきました。様々な事業にたくさんの地域の方々が参加してくださいました。地域の方々、保護者の方々、本校職員が共に活動することで、事業を重ねるごとに三者の連携の深まりを感じました。地域の方々は、打ち合わせから熱心に取り組んでくださり、東市校区全体で本校を見守り、本校に通う児童の育成に頼もしさを感じました。

来年度に向けて

深まってきている地域と学校との連携・協働をさらに強くし、東市校区全体の一体感を高めていきたいと考えています。また地域ボランティアの固定化・高齢化の解消を図るための策を考え、推進していきたいと思っています。本校職員と地域の方々との連携もさらに深めていきたいと考えています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に生かせる子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標 地域とのつながりを感じる環境整備、学習支援活動を充実する

今年度の取組紹介

○環境整備事業

季節ごとに玄関や職員室前の廊下の飾り付けをしていただき、きれいな手作りの飾りに、みんな足を止めて見入っていました。また、年末には角松も飾っていただきました。夏のペンキ塗りでは、地域、保護者、児童、職員が一丸となって廊下、階段のペンキ塗りをしました。

○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも3年生や2年生の校区探検や昔の道具体験では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの参加があり、地域や昔の道具のことに詳しく児童に教えていただきました。また、家庭科では調理や裁縫の実習ごとにボランティアの方に実習の補助をしていただきました。ミシンの使い方や野菜の切り方等を優しく教えていただきました。冬の集いでは地域に伝わる千本づきを披露していただきました。

○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが毎週水曜日に朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さりました。児童も楽しみにし、本好きな児童が増えています。児童の読書力向上へつながってきています。



今年度のまとめ

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。登下校時の見守り活動や校区探検の補助、家庭科の実習補助、冬の集い等、地域の方々と触れ合う機会がたくさんあったことにより、児童はたくさんの地域の方々に支えていただいているということを実感できたようでした。それは、5年生児童の地域の方への感謝の気持ちを書いた作文にも表れていました。

今年度のありがとう集会は、通学路を中心とした校区の清掃活動を行うことにより感謝の気持ちを伝えました。

6年の全国学力調査における国語Aの読解の分野の正答率が全国平均より上回りました。読書力向上事業に取り組み続けてきた成果が現れてきたのではないかと考えられます。

来年度に向けて

活動ボランティアが高齢化し、ボランティアを卒業される方が増えてきているという現状があります。新たな人材を発掘し、最低でも現状並みの人数を確保できるよう地域に働きかけていく必要があります。また、多くのボランティアの方に力を発揮していただき、人材を有効に活用することができるよう運営委員会を中心に活動内容や連絡体制を整理していく必要があります。また、活動の後に振り返りの時間を設定し、課題等について検討することで活動の活性化を図りたいです。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- 確かな学力の育成をめざす（学力向上推進事業）
- 強い体の育成をめざす（体力向上推進事業）
- 花いっぱい为学校づくりをめざす（環境整備事業）

今年度の取組紹介**○ 確かな学力・豊かな心の育成をめざす取組**

学力向上の目標を達成し、確かな学力に結び付けるため、地域から様々な協力を得ながら取組を進めてきました。

国語の授業力を高めるための職員研修、郷土への愛着を深めるための学習、また高い人権感覚を養うための学習会など、様々な取組を進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマスク体験学習など、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育む取組を行いました。

**○ お話の会や読み聞かせなどの取り組みから読書に親しむ子へ**

朝のチャレンジタイムの読書タイムに加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」1年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備などに本事業を活用し、取り組みを進めていくことができました。

○ みんなで花いっぱいの学校づくり

校舎改築により花壇等は縮小されましたが、地域の方々の協力のもと、教職員児童が主体的に環境整備に関わってプランター栽培に取り組み、年間を通して花の絶えないように環境整備を続けてきました。また地域万年青年クラブの皆さんやPTAの協力を得て、校庭の樹木整理、草引きなど、学校環境整備に尽力いただきました。

**○ 体育や外遊びの充実から運動好きな子に**

放課後子ども教室や地域の方々の運営のもと行ったミニ運動会など、地域の方々と共に楽しみながら健康・体力づくりに取り組みました。

今年度のまとめ

今年度も、地域の多くの方が、子どもたちに関わって下さいました。大変、精力的に活動していただいたことで、子どもたちは地域の方々に親しみを持って楽しく活動することができました。子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶、聞く、清掃の場面を大事にして自己効力感を持てるように取り組みを進めてきました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が、わずかではありますが、子どもたちの自信を持った行動に表れ始めています。

来年度に向けて

さらに、地域との連携を深め、新たな取り組みの創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」をめざして取り組みを続けたいと考えています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

豊かな感性をもち地域とともに主体的に生きる子どもの育成

今年度の取組紹介

学校教育に対して協力的で、児童が地域の宝であると考えてくださる方が校区にたくさんいらっしゃいます。帯解小学校では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、地域の方と共に活動したり学んだりする取組を栽培活動や体験・交流活動、聞き取り学習として組み込んでいます。

中でも栽培活動において5年生では、地域の方からお借りした田で実際に籾まきから田植え、秋に稲刈りの体験をさせていただいています。生活の中で身近なお米の栽培に関わり、地域の方とつながることで、地域の良さを知り、感謝の心が育まれています。

また、体験・交流活動で3年生が干し柿作りを地域の方に教えていただきました。初めて柿の皮をむく児童もむき方を教わりながら、初めてできたことで達成感を味わっていました。むいた柿を竹串に刺して乾燥させる際に、両端に2個、真ん中に6個配置する意味に驚きの表情も見られました。今ではすべての家庭では行わないような体験に触れる機会になっています。古くから日本の伝統として伝えられてきた生活の知恵や考え方などを地域の方から学び、豊かな感性の育成につながっています。

「30万人の市民を先生に」という奈良市教育振興基本計画の基本方針の実現の一步に、さらに地域の方と子どもたちがつながり、学びの輪が広がることを願っています。そのために地域への情報発信にさらに努めていきます。

**今年度のまとめ**

地域の方とともに学ぶ聞き取り学習や体験・交流学習・栽培活動は、児童が地域の方と関わる中で知見を広げ、豊かな感性の育成につながりました。学校評価においても地域の方との活動は95%以上の児童が楽しいと回答しました。学校教育の様々な場面で、児童は地域の方に見守られ、支えられながら育っています。

来年度に向けて

精華・帯解両地区の良さを生かした取組をさらに進め、地域で学んだことを誇りに思う児童の育成と豊かな感性をもち地域とともに主体的に生きる子どもの育成を目指していきたいと考えています。

めざす子ども像

- ・ みんなと力を合わせ、なかまと共に高まって行く子ども
- ・ 「学ぶ力」「生きる力」を見つけ、生活や将来に活かせる子ども
- ・ 感性豊かでたくましく自立する子ども
- ・ 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- ・ 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- ・ 豊かな心をもち、いきいきと活動する幼児の育成

今年度の取組紹介**《民生さんとの交流》**

毎年7月、地域の方から七夕の笹を用意して頂き、『七夕集会』を開いています。今年は、子どもたちが作った七夕飾りを民生さんと一緒に飾り、「願い事が、叶うといいね」「ここに付けてください」等、民生さんとお話ししながらたくさんの飾りをつけていました。完成した大笹は、リズム室に運び、民生さんに設置してもらいました。

また、民生さんと、プールにも入りました。昨年から始め、大変好評だったので、今年度も計画に入れました。「今年は、水着を用意しましたよ」「おいで～。泳がせてあげよう」「民生さん、一緒に遊ぼう」等、会話がはずみ、とてもいい雰囲気でした。民生さんも、童心に返り、水しぶきをうけながらも、子どもたちと楽しく遊んでくださいました。

《未就園児交流》

事業活動のひとつに未就園児ひよこ組があります。年間計画を立て毎月一回程度に、地域の3歳児と保護者が幼稚園に遊びに来て、いろいろな活動を行います。今年度の活動の中で、未就園児対象に『お話の会』をした時、年齢に応じた絵本や手遊びを紹介の他に、参加型の絵本のおもしろさを取り入れてくださいました。「うんとこしょ、どっこいしょ」

と声を掛け合い、絵本『おおきなかぶ』をみんなでしました。また違った絵本の楽しみ方を経験することができました。

今年度のまとめ

今年も、地域の方々や保護者と共に園児と交流し、様々な取り組みをする中で、いろいろな体験をすることができました。ふれあいを重ねていくうちに、感謝の気持ちをもって人にかかわっていこうとする力や生活態度に関する意欲につながりました。

来年度に向けて

温かい地域の方々に見守られながら、事業活動を保育に取り入れ「ひと・もの・こと」とのつながりにおいて、一人一人が感謝の気持ちや自分を取り巻く地域・環境を大切に思う気持ちを育み、豊かな心へとつないでいきたいです。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

ひとりひとりの笑顔が輝く辰市幼稚園

今年度の取組紹介

<野菜づくり>

・地域の方にご協力をいただき野菜や花の栽培活動に取り組んでいます。土作り、種や苗の植え方、世話の仕方を丁寧に教えていただいています。園に足しげく通い栽培の今（すること）を教えてください。様々な気象条件の中での育ちを、その時期に応じて職員にも説明していただいています。愛情をかけて野菜等を育てる姿を見せてくださり、また、子どもや保護者の喜ぶ顔を思い浮かべながらおいしい野菜をといつも考えてくださっています。園でクッキングをしたり、家でもおいしくいただいています。感謝の気持ちと笑顔が自然とあふれ出てきます。



<民生さんと遊ぼう>

・地域の民生さん達に遊んでいただきました。「身体ほぐし」をしたり、「わらべうた」を歌いながらのお手玉遊び、新聞紙でつくる「兜」等を教えていただきました。民生さんは、子ども達の目線にあわせて懐深く受け入れてくださり、子ども達は別れを惜しむ程たくさん甘えさせていただきました。「人っていいな。あたたかいな」を感じられる豊かな時間になりました。



今年度のまとめ

・地域に、自分を全面的に受け入れてくれる存在があることは、かけがえのないことです。自分のことも他人のことも好きになれる子どもになります。そして、地域の大人同士が助け合い、和気あいあいとした人間関係の中で暮らせる安心感は、きっと「この地域に生まれてよかった」と思える子ども達をつくり、してもらったことへの恩返しができる大人になっていくと思います。地域の力が子ども達の人間力をつけていくと信じ、園としてもその視点にたっています。

来年度に向けて

・引き続き、地域の方との出会いを喜び、ご指導をいただきながら、たくさんの行事を通して、保護者、子ども、職員がともに育ちあっていきます。時代が変わっても変わらない伝統、人間関係のあり方、辰市地区の地域力を、園としても次の世代、さらに次の世代へと伝えられたらと思います。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

地域に開かれた幼保連携型こども園をめざして

今年度の取組紹介

○教育支援活動『太鼓に親しもう』

5歳児38名の子どもたちが地域の方に来ていただき、太鼓にふれてバチの持ち方、太鼓のたたき方やリズムに合わせる楽しさなどを一緒にしながら教えていただきました。子どもたちは、手の上げ方や太鼓の響く音・リズムを身体で感じながら太鼓にふれる楽しさを味わうことができました。その経験をオータムフェスタで地域の方や保護者の方にオープニングで、リズムや曲に合わせた太鼓を観ていただくことが出来、みんなで達成感や満足感を味わうことができました。また、畑の先生として地域の方に来ていただき、4歳児27名の子どもたちと畑づくりや種まき・間引き等を教えていただき、“今市かぶ”という地域の伝統野菜にふれる経験になり、収穫の喜びと共に食の楽しさや感謝の気持ちを感じる機会となりました。そして継続して行っている“花いっぱい運動”“さつまいもの苗植え、収穫”“やきいもパーティ”“生け花体験”など子どもたちにとって地域の方とふれ合いながらいろいろなことを教えていただき、親しみを感じながら感性豊かな経験を得ることができ、大きな学びにつながっています。



今年度のまとめ

- 地域の方が太鼓をたたき真剣な姿やその迫力のある音を体験することで子どもたちの体と心に響く豊かな経験となりました。畑づくりでは“今市かぶ”を通して地域の方の共に生長や収穫の喜びなど様々なことを学ぶ経験となりました。継続して行っている“花いっぱい運動”“さつまいもの苗植え、収穫”“やきいもパーティ”“生け花体験”など地域の方の協力なしでは経験できない体験を地域の方々とふれ合う機会ももつことが出来、地域の方の名前を呼んだり声を掛けたり、園外で見かけた時に手を振るなど親しみを持つ姿にたくさんの学びや成長につながったと思います。
- こども園の教育・保育を地域の方々にご理解していただきながら、多くの協力を得て、事業や取組が進んだと思います。

来年度に向けて

- 引き続き、子どもたちが夢中になって遊び込む中で、ひとやものとかかわり主体的な遊びを展開できるように、地域や保護者の方の協力を得ながら、園庭環境整備や菜園・花壇づくりに努めていきたいと思っています。また、これらの事業を保護者や地域の方に伝えていきながら、こども園の教育・保育への理解を更に深められるようにしていきたいと思っています。

めざす子ども像

○ みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども

○ 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせるこども

○ 感性豊かで、たくましく自立する子ども

○ 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども

○ 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- ・ 地域との関わりを通し、お互い認め合い、助け合い思いやる心を育てる。
- ・ 地域の良さを生かした、豊かで多様な体験をしながら、生きる力の基礎を培う。

今年度の取組紹介

＜和太鼓演奏＞

地域の方に、和太鼓演奏の指導をしていただきました。バチの持ち方、良い音の出るたたき方など一人一人に熱心に教えていただきました。体に響く太鼓の音を全身で感じ、友だちとリズムを合わせる心地よさを味わうことができました。5歳児は、古市町地蔵尊での太鼓奉納や運動会でのオープニングを飾り沢山の方々にその成果を披露することもでき、自信につなげることができました。

＜茶道教室＞

茶道のお点前や挨拶の仕方を教えていただきました。

自分でお抹茶を点てる体験も行い、日本の伝統文化に触れる事ができました。

緊張しながら茶碗や茶筌を使って点てたお茶の味は、「とてもおいしかった」と感想を言っていました。



今年度のまとめ

・今年度、こども園として開園し地域の方々にご支援とご協力をいただきこども達の活動の幅が広がりました。何よりも多くの方に出会い挨拶を交わし、誉めていただくことが増え、こども達が地域の中で大切にされていることを感じているところです。人間関係が希薄になる現代において沢山の方との出会い大切にして行きたいと思っています。

来年度に向けて

・こども達が地域の方々と交流を持ち、いろいろな経験を重ねていけたらと考えています。又、地域に残る伝統行事などを大切に思えるこども達、こども園職員として成長できるように取り組みを展開できたらと思います。